

371. 鈴木 睦・鶴野伊津志・若松伸司・奥田典夫(国公研)・昆野信也(埼玉県公セ)・古塩英世(川崎市公研): 環境大気中における平均 OH ラジカル濃度の推定
372. 村松久史・広田道夫・牧野行雄・佐々木徹(気研・高物): 成層圏汚染(オゾン層の破壊)に関する研究(5) 大気中におけるフロン11, フロン12および亜酸化窒素の濃度
373. 村松久史・広田道夫・牧野行雄(気研・高物): 成層圏汚染(オゾン層の破壊)に関する研究(6) 赤外干渉分光器による大気中微量成分の観測—その2—
374. 村松久史・牧野行雄・広田道夫(気研・高物): 成層圏汚染(オゾン層の破壊)に関する研究(その7) 一次元モデルによる微量成分の高度分布

## 測器

座長 田中 浩

375. 西宮 昌・赤井幸夫・小林博和(電力中研): 音波探査による下層大気の観測(II)
376. 赤井幸夫・鈴木正勝・西宮 昌(電力中研): ソーダによる排煙上昇高さの観測
377. 柳沢善次・石原正仁(気研・台風): 可搬型ドップラーレーダについて
378. 青柳二郎(気研・衛星)・井部憲良(東海大): 測風レーダにおけるデータ処理について
379. 和田 誠(名大・水圏研, 現在極地研): pulse to pulse 法による降雪粒子の識別
380. 村林 成・岩坂泰信・寺井久慈(名大・水圏研)・山下喜弘(気研・衛星)・和田 誠・山内 恭(極地研)・武田喬男(名大・水圏研):  $H_2O + h\nu$  ( $Ly\alpha$ )  $\rightarrow OH^* + H$  を利用した対流圏上部及び成層圏の水蒸気測定法(II)

## 講演発表者へのお願い

1. スライドはマウントに番号をつけること, 上下を揃え, わかるようにしておくこと. 標準枚数は6~8枚です.
2. オーバーヘッド・プロジェクターはシンポジウムのみ利用可能です.

## 月例会「レーダ気象」のお知らせ

日 時 昭和56年12月9日(水) 10~16時

場 所 気象庁内東京管区気象台会議室

## 研究発表

1. レーダ協同調査に関する調査研究
  - (1) 降水調査 (fr の間類)

(2) 短時間降水予報におけるレーダの利用の調査

2. その他

連絡先 〒305 茨城県筑波郡谷田部町長峰1-1

気象研究所 柳 沢 善 次

電話 0298-51-7111 内線 525